

研究構想図/組織図

児童の実態と教師の願い

既習事項を活用して考えを作りだせるようになってほしい。
主体的に学ぶ力を身につけてほしい。

学校教育目標

笑顔いっぱい
かがやく入谷っ子

重点目標

自分の考えをもち、主体的に考え、行動する力

研究主題

自ら学ぶ児童の育成

～必然性のある学びを通して、自ら考えたい授業～

目指す児童の姿

課題や問題を解決するために、協同しながら主体的に学ぼう(考えよう)とする姿

	低学年・支援	中学年・支援	高学年
児童の姿	○課題や問題を解決するために、友だちと仲良く伝え合い、新たな考えに気づき認めようとする姿	○課題や問題を解決するために、相手の考えを理解しようと関わり合い、新たな考えを広げようとする姿	○課題や問題を解決するために、お互いの考えを生かし合い、新たな考えを活用しようとする姿

目指す児童の姿を達成する「必然性のある学び」

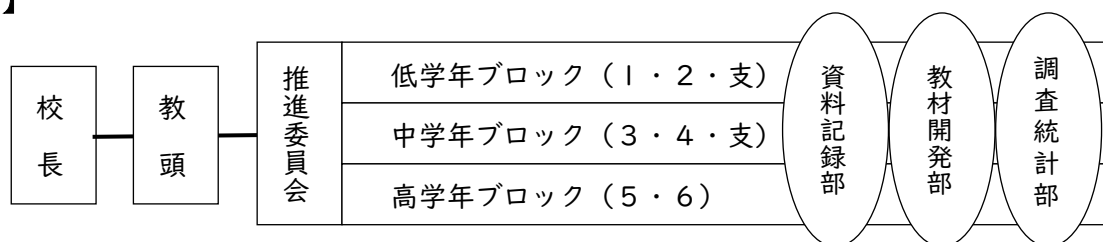
各学年・各授業で研究を進め、実践していく

検証

全児童対象の意識調査の分析による検証 <手順>①実態調査 ②育てる資質・能力の明確化 ③学習状況に関するデータ収集 ④分析
「振り返り」の行い方→学年間の系統性、単元間のつながりを考慮した振り返りの方法を検討

組織図

【組織図】



【各部の活動】

- ①資料記録部・・・レポートや資料の管理・授業写真や動画の管理をする
- ②教材開発部・・・新たな学習方略の実践例をまとめる
- ③調査統計部・・・アンケートの作成と分析をする